



信頼 努力 協同

狭山台中だより

狭山市狭山台4-26 04-2958-6791

令和4年3月24日 第18号

学校教育目標

◎学び合う生徒

◎考えて行動できる生徒

◎高め合う生徒

立志の季節

期待で胸膨らませ巣立つ季節。大変立派な卒業生でした。担任の呼名に対する一人ひとりの返事、卒業証書を受け取る時の真っすぐな視線や笑顔、話を聞くときの凛とした態度、そして歌声。2年間コロナに翻弄された生活でしたが、いつもできる中でのベストを尽くし、狭山台中をリードし、支え、後輩たちに確かなバトンをつないでくれた187人に感謝の気持ちでいっぱいでした。

卒業式の3日前。3/12(土)3年生を送る会が開かれました。生徒会本部役員と実行委員が中心となり、1,2年生各クラスからのビデオメッセージや劇、体育館の窓には2年生が作ったステンドグラス、3年生の教室には、1年生が思いを込めた飾りや黒板アートなど、できる中でのベストをつくし準備をしてくれました。成長を感じます。

そして、1,2年生の思いに対する3年生からの呼びかけと「栄光の架橋」の合唱。会場の体育館にいた私は、3年生の想いを受けての感動と、生徒にたくさんの我慢をさせ、たくさんの経験をさせられなかった悔しさで胸がいっぱいになりました。

“3送会”を通じ、行事の大切さを痛感しました。皆で何かを作り上げたときの達成感や感動、そして人に思いを伝える喜びは、勉強だけでは決して学ぶことができない大事なものを子供たちに残してくれると実感しました。来年度も、コロナ禍を無視はできないでしょうが、やれることはたくさんあります。新たな気持ちで、生徒に多くの経験をさせ成長させていきたいと思います。私たちの挑戦です。

3月15日、3年生187人が卒業していきました。学校を休みがちだった子たちにも、全員卒業証書を渡すことができました。

それぞれの進む道を自ら選択し、春の出会いに



1年生作 黒板アート

3年生を送る会より「栄光の架橋」

誰にも見せない涙があった 人知れず流した涙があった
決して平らな道ではなかった けれど確かに歩いて来た道だ
あの時思い描いた夢の途中に今も
何度も何度もあきらめかけた夢の途中
いくつもの日々を越えて 辿り着いた今がある

だからもう迷わずに進めばいい
栄光の架橋へと...
悔しくて眠れなかった夜があった
恐くて震えていた夜があった
もう駄目だと全てが嫌になって逃げ出そうとした時も
思い出せばこうしてたくさんの支えの中で歩いて来た
悲しみや苦しみの中に それぞれの光がある
さあ行こう 振り返らず走り出せばいい
希望に満ちた空へ...



エンタの皆様???

残りわずかとなった令和3年度。各学年で1年の総まとめ。そして、最後の行事を計画し、思いっきり楽しんでいました。1年生は学級対抗球技大会。2年生は、エンタの皆様?と題して、パフォーマンスを披露。大いに盛り上がっていました。最高の笑顔で、仲間との時間を思いっきり楽しんでいました。



3/18 1年球技大会



3/18 2年生 「エンタの皆様」

無関心ではいけない「ウクライナ」

ご存知の通り、ロシアによるウクライナへの侵攻が激化しています。たくさんの犠牲者があることが連日報道され、苦しくなります。そんな中、3月9日から3日間にわたり、生徒会本部の発



案で募金活動を行いました。無関心ではいられなかったのでしょうか。自分たちにも何かできないかとの思いで行動したようです。一人10円として、全校で6000円が目標と聞いていましたが、生徒の関心が高く、目標を大きく超える募金があったそうです。ユネスコまたは赤十字へ寄付すると聞きました。生徒が自分たちの発案で、実際に行動したことをたくましく思います。これも社会貢献の一つ。ご協力ありがとうございました。本部生徒がしっかりと思いを届けてくれると思います。

校長のつぶやき 1年間ありがとうございました

明日、修了式を迎えます。あっという間に令和3年度が駆け抜けていきました。常に新型コロナ感染拡大予防に腐心し、活動は、どこまでやれるのかを探り、迷い、決断の繰り返しでした。その結果、保護者の皆さんに生徒の活動をお見せできなかつたり、行事が延期や中止になったりと、悔しい思いと申し訳なさでいっぱいです。感染不安や生活リズムの崩れ、漠然とした不安や学習の遅れなど様々な理由で、休みがちになった生徒も少なくありません。私の夢は、全生徒が元気に学校に顔をそろえることです。「誰もが安心して学校生活を送り、成長を実感し、地域とともにある狭山台中学校」を目標に学校づくりをしてまいりましたが、まだまだこれからです。今後も粘り強く学校づくりをしてまいります。1年間、ご協力ありがとうございました。

